

令和5年度南丹市歳入歳出決算の概要

令和5年度 一般会計歳入歳出決算

歳入	259億6,610万	963円
歳出	247億3,949万5,	995円

令和5年南丹市議会9月定例会で認定されました、『令和5年度南丹市一般会計・特別会計歳入歳出決算』の概要についてお知らせします。

令和5年度一般会計決算は、市に入ったお金(歳入)の総額が259億6,610万963円、使ったお金(歳出)の総額が247億3,949万5,995円となりました。歳入歳出差引額は、12億2,660万4,968円となり、このうち翌年度へ繰り越すべき財源1億1,246万7,000円を差し引いた実質収支額は、11億1,413万7,968円の黒字決算となりました。

ただし、その歳入には、前年度からの繰越金10億4,712万2,268円が含まれています。

歳入で一番多いのは、標準的な行政サービスを行うために交付される「地方交付税」が、98億9,274万2,000円、歳入全体の38.1%を占めています。続いて、市民税や固定資産税などの「市税」で42億2,385万2,791円(16.3%)、特定の事業実施のために国から交付される「国庫支出金」で30億9,481万282円(12.0%)の順となっています。

歳出は、子育て環境の充実に向けた取組や、価格高騰対策としての給付金事業で生活と暮らしの支援を行った「民生費」が72億3,497万6,830円と最も多く、歳出全体の29.2%を占めています。続いて「総務費」が48億2,009万8,790円(19.5%)、「公債費」31億8,645万9,312円(12.9%)「土木費」25億2,288万7,574円(10.2%)となっています。

そのほか、4 特別会計(企業会計は除く)について、すべて黒字決算を維持しております。

令和5年度においては、子育て環境の充実に向けた取組のほか、安全・安心な学校教育環境の整備にも取り組み、学習活動の充実を進めてまいりました。また、電気・ガス・食料品等の物価高騰により日常生活に影響を受けている低所得世帯や小・中学生の保護に対して年間給食費の3分の1相当の支援を行った市独自の支援を意欲的に取り組んだ結果を反映したものとなっております。

一方で、少子高齢化、過疎化による人口減少などによる地方交付税などの収入が減少し、子育てから高齢者まで幅広く生活を支える社会保障関係費や長期借入市債に係る償還金も多く、大変厳しい財政状況となっています。

このように厳しい財政状況の中ではありますが、様々な行政課題や大型事業への対応など、市民の皆さんの要請に応えるべく、「南丹市をもっと元気に、地域の個性を生かし希望あるまちづくり」の実現に向け、施策・事業推進に総力を挙げてまちづくりを進めてまいりました。